

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課	■担当係	社会教育係
■評価事業名称	地域婦人団体協議会活動費補助金		
■評価事業コード	400300 - 037	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進	
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	社会教育法第10条～14条		
■関連計画の名称			
■事業の概要	自主的活動で知識習得、向上。生き生きとした地域社会づくりを目指す。女性団体活動への支援		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	地域婦人団体協議会活動費補助金	市民		会員357名

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	683	660	587	584	
人件費	165	1,145	243	79	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	848	1,805	830	663	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	事業数	8事業	8事業	8事業	9事業	事業数の実績は維持されている
03	会員数	424人	392人	357人	357人	
04	事業1回当たりコスト	106000円	226000円	103,750円	73,667円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

05	会員1人当たりコスト	2000円	4605円	2,325円	1,857円	
----	------------	-------	-------	--------	--------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

自らの事業以外にも、様々な団体の事業に協力しながら、生涯学習や男女共同参画の推進、青少年健全育成に寄与することができた。また、役員が市の各種委員として協力していて、地域づくりに貢献している。

問題点・課題等

総事業費の55%が市の補助金であり、補助金の支給が減ると運営が困難な状況となる

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明